

68 田原本町鍵・今里の蛇(じゃ)巻き

—農作業の神事として大事にされています—

弘行君おめでとう。丑年から始めた毎年の干支にかかわる年賀状、巳年の平成 25 年は蛇に関係するお話です。動物についても学ぶ理科の教師としては、好き嫌いを言うてはいけないと思うのですが、どうしても好きにはなれないのが蛇です。はっきり言って嫌いです。

子どもの頃、「こんなに長いのをつかまえたぞ」と手でブラブラさせながら見せに来る友達から逃げていました。普通のへビは何もしないのに。ただ、毒を持つニホンマムシは別です。「これには気をつけなさい」と言われました。でも、それを見せられたり、その説明を聞いたりするのさえいやだったのです。こわいから知っておかなければならないのにね。

前置きが長くなりました。蛇に関するお話、それは田原本町鍵や今里で行われる蛇巻きの行事です。去年の6月3日、I先生に案内してもらって、鍵の八坂神社で行われた蛇巻きの行事を見学して来ました。町中の男の子が集まって蛇を作ります。材料は稲わらと麦わらです。最近ではムギを植えてある風景はあまり見なくなりましたが、ここではそのために栽培されています。

蛇の頭を見てください。頭の上に立てかけてある竹の先端にくわえさせてあるのは「どさん箱」といわれるもので、子どもたちが作った農具のミニチュアが入っています。



宮司さんのお祓いを受け、祝詞（のりと）が奏上された後、午後2時に出発します。重さが250kgもある頭の部分



をかつぐのは大人たち、12mほどのしっぽを持つのは子どもたち、ときどき引っ張って大人を困らせたり、停めてしまったりします。でも、とても重いのですから、子どもたちに停められると一服する口実になるのかも知れません。最後に、北中学校の前の「はったはん」という場所の大樹の根元に頭を置き、胴体は逆さまに吊るされます。

一方、今里では練り歩いた後、杵築神社南側にある大樹に頭を上にして巻き付けられるそうです。それぞれ古くからの伝説があり、降り龍、登り龍と呼ばれている行事で、これらは国指定の文化財です。

弘行君の生駒市にもこんな行事がありませんか。

スポットの案内

蛇巻きが行われるのは6月の第1日曜日午後です。八坂神社は田原本町鍵、杵築神社は田原本町今里にあつて、近鉄石見駅下車、東へ徒歩約20分です。この近くには弥生時代の環濠集落遺跡があつて出土した絵画土器に描かれていた楼閣が復元されています。

理科のワンポイント「脊椎動物の分類」

私たちは背骨をもつ動物、脊椎動物です。脊椎動物は5つに分けられます。私たちやイヌ、ウサギなどの哺乳類、スズメやハト、大きなものではワシなどの鳥類、ここに出てきたヘビ、カメなどは爬虫類、

カエルやイモリなどは両生類，そしてフナやイワシ，マグロなどは魚類です。この 5 つのなかまの特徴を整理すると表のようになります。

特徴	魚類	両生類	は虫類	鳥類	哺乳類
えらで呼吸する	○	○			
肺で呼吸する		○	○	○	○
卵生，水中に産む	○	○			
卵生，陸上に産む			○	○	
胎生である					○
変温動物である	○	○	○		
恒温動物である				○	○

ここからは私の採点です。水中にわずかに溶けている酸素を取り入れるよりも酸素が 20% も含まれている空気を呼吸する方がいい，だからえら呼吸は 1 点，肺呼吸は 3 点，時期によって違う両生類は 2 点，水中に産んだ卵は干上がったら死んでしまうから 1 点，陸上でも大丈夫な卵は 2 点，生まれるまで体の中で守られる胎生は 3 点，周りの温度によって活動が制限される変温動物は 1 点，少々寒くても活動できる恒温動物は 2 点として計算してみてください。結果はこうなります。

特徴	魚類	両生類	爬虫類	鳥類	哺乳類
点数	3	4	6	7	8

なるほど，哺乳類の体は進んでいると思いませんか。でも，魚類は「そんなのは哺乳類の勝手な言い分だ。ぼくたちにはこんな利点があるよ」と反論してくるかもしれません。